

1 計測方法

合計・便あたり利用者数

- ・乗降カウンターシステムは予備車には設置されていません
- ・合計・便あたり利用者数は、従来通り **運転手が目視で計測した数**を用いることとします

停留所ごとの利用者数

- ・予備車が運用された便は欠測になります
- ・各停留所の利用者数は、**計測された便の平均**を用いることとします

【具体的な例】

	1便		2便(予備車)		3便		平均	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
停留所A	5人	-	欠測	-	4人	-	4.5人	-
停留所B	4人	2人	欠測	欠測	1人	2人	2.5人	2.0人
停留所C	-	7人	-	欠測	-	3人	-	5.0人
合計	9人		13人		5人		9.0人	

カウンターで計測
できた便だけの平均



運転手が目視で
計測した数の平均

2 利用状況

(1) 利用者数の推移 (p.3、p.4)

- ・2022年10月の運行開始以来、利用者数は増加傾向です。5月は30,338人(日あたり約980人)が利用しています
- ・路線別にみると、中部・市役所線や南部・上野間線は横ばい傾向です。また、北部・大野線は増加傾向であるものの、他の路線に比べて利用者が少ない状況が続いています

(2) 平日・休日の利用状況 (p.5)

- ・北部・大野線や中部・市役所線は平日に比べて、休日の利用者が顕著に少ない状況です
- ・一方でポートレース周遊線は、休日の利用が多い状況です

(3) 停留所ごとの利用状況 (p.6)

- ・ポートレース周遊線や南部・武豊線(休日)は、起終点どちらも乗降が多く、全区間を通した利用が多いことがうかがえます
- ・他路線は、駅などの結節点側で乗降が多いことから、路線の末端にいくほど利用者が少ないと考えられます

(4) 北部バスとの比較 (p.7)

- ・グルーンの北部エリアでは、利用者の増加が続いています
- ・北部バスの1日6便(平日のみ運行)から、1日17便(毎日運行)になったため、1便あたりの利用者は北部バスの頃よりも減少しています

1日あたりの利用者数(全路線合計)

(人)

1,400

1,200

1,000

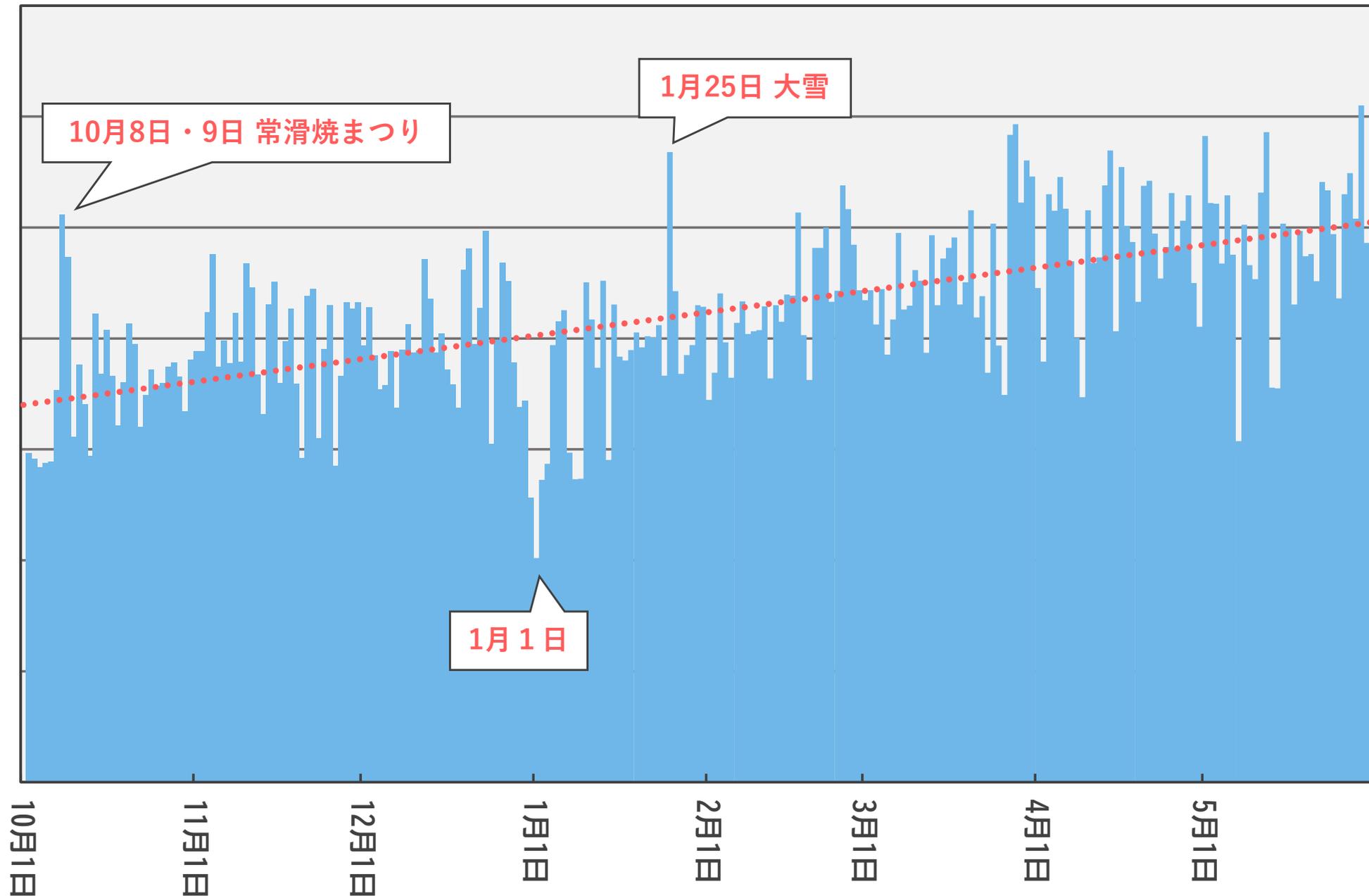
800

600

400

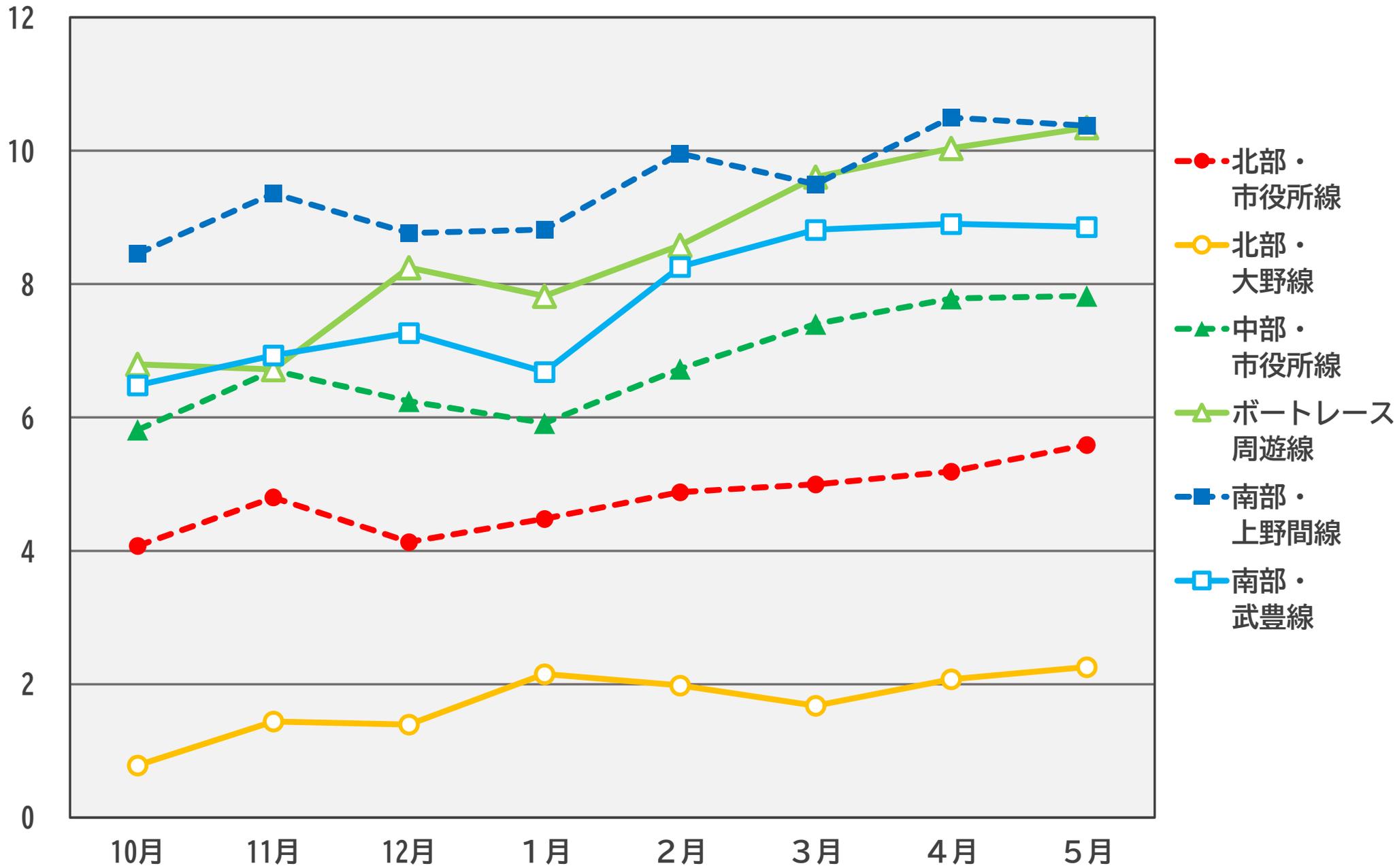
200

0



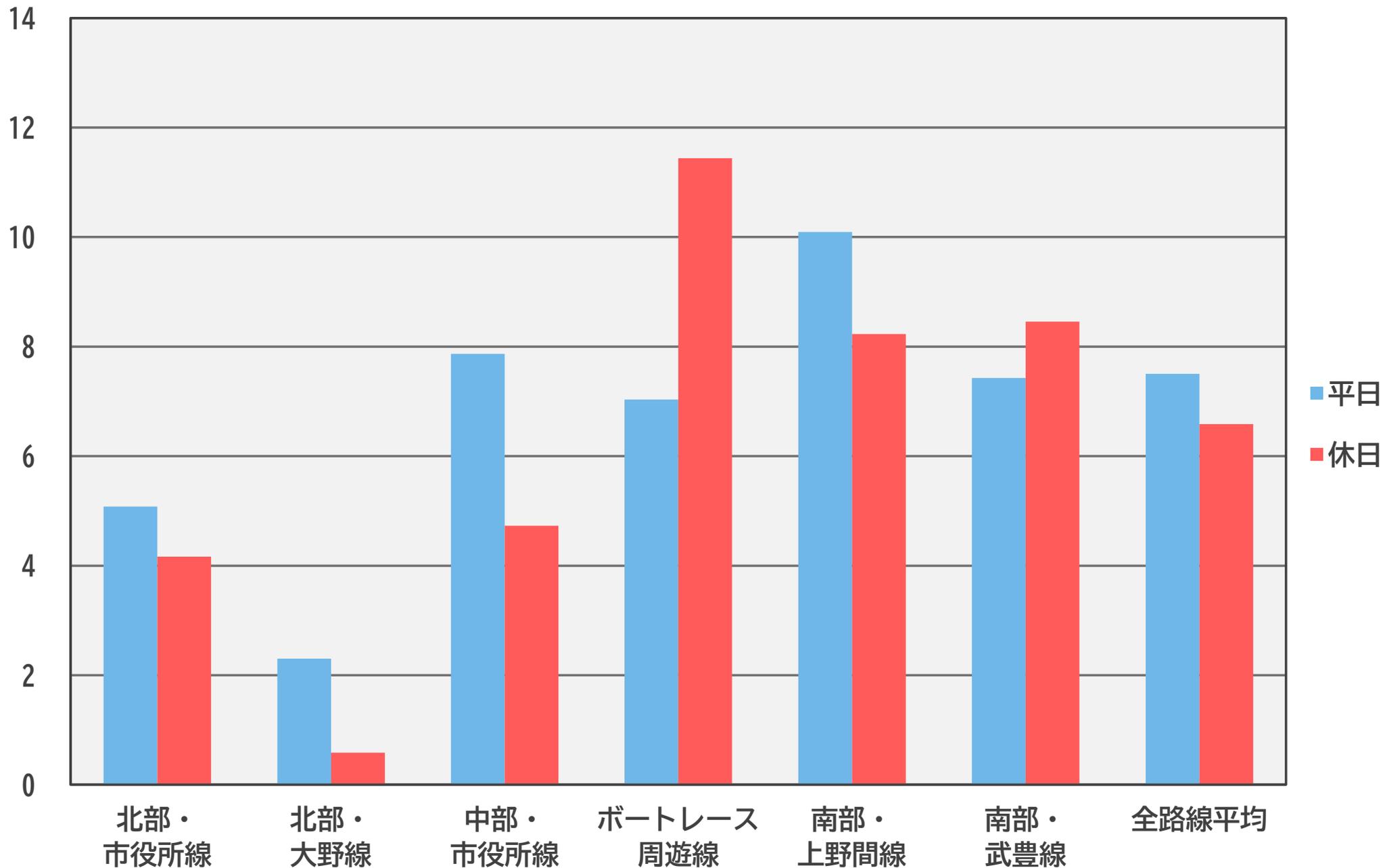
路線ごとの1便あたりの利用者数

(人/便)



平日・休日ごとの1便あたりの利用者数

(人/便)



主な停留所の1便あたりの利用状況

路線	停留所	平日		休日	
		乗車(人)	降車(人)	乗車(人)	降車(人)
北部・市役所線	農協北部センター	0.39	0.91	0.33	0.90
	大野町駅	0.96	0.92	0.80	0.76
	多屋公園	0.69	0.77	0.77	0.63
	常滑市役所・市民病院	3.62	2.70	2.48	2.16
北部・大野線	矢田公民館	0.67	0.40	0.07	0.11
	宮山公会堂	0.76	0.41	0.06	0.07
	大野町駅	1.74	3.32	0.41	0.64
中部・市役所線	常滑市役所・市民病院	2.69	2.10	1.00	0.75
	飛香台中央	0.83	1.04	0.58	0.57
	常滑駅	7.50	6.31	4.21	4.20
ボートレース周遊線	常滑駅	3.91	3.41	4.76	4.25
	イオンモール常滑	2.83	3.24	4.29	4.63
南部・上野間線／武豊線	常滑駅	7.08	6.90	7.28	6.93
	古場	0.43	0.49	0.46	0.52
	上野間駅	3.36	2.67	1.95	1.65
	知多武豊駅	3.91	3.73	5.02	4.84

※ **太字**は平日・休日で1便あたり0.2人以上差があるもの

北部バスとコミュニティバス グルーンの比較

